

令和 7 年度 第 2 回 環境審議会

「朝来市生物多様性地域戦略」策定の進め方について

資料目次

- 戦略策定の背景
- 戦略策定のスケジュール
- 各環境審議会の議題（案）
- 戦略の構成イメージ
- 重視する点①：現状・課題の把握
- 重視する点②：市民等による意見の積極的な反映
- 補足：レッドデータブック・ブラックリストについて

戦略策定の背景

● 「生物多様性地域戦略」の策定理由

- ・ 「第4次朝来環境基本計画」で定めた基本目標2「自然共生」の中で、生物多様性地域戦略およびレッドデータブックの策定を進めることを定めた。

基本目標2【自然共生】

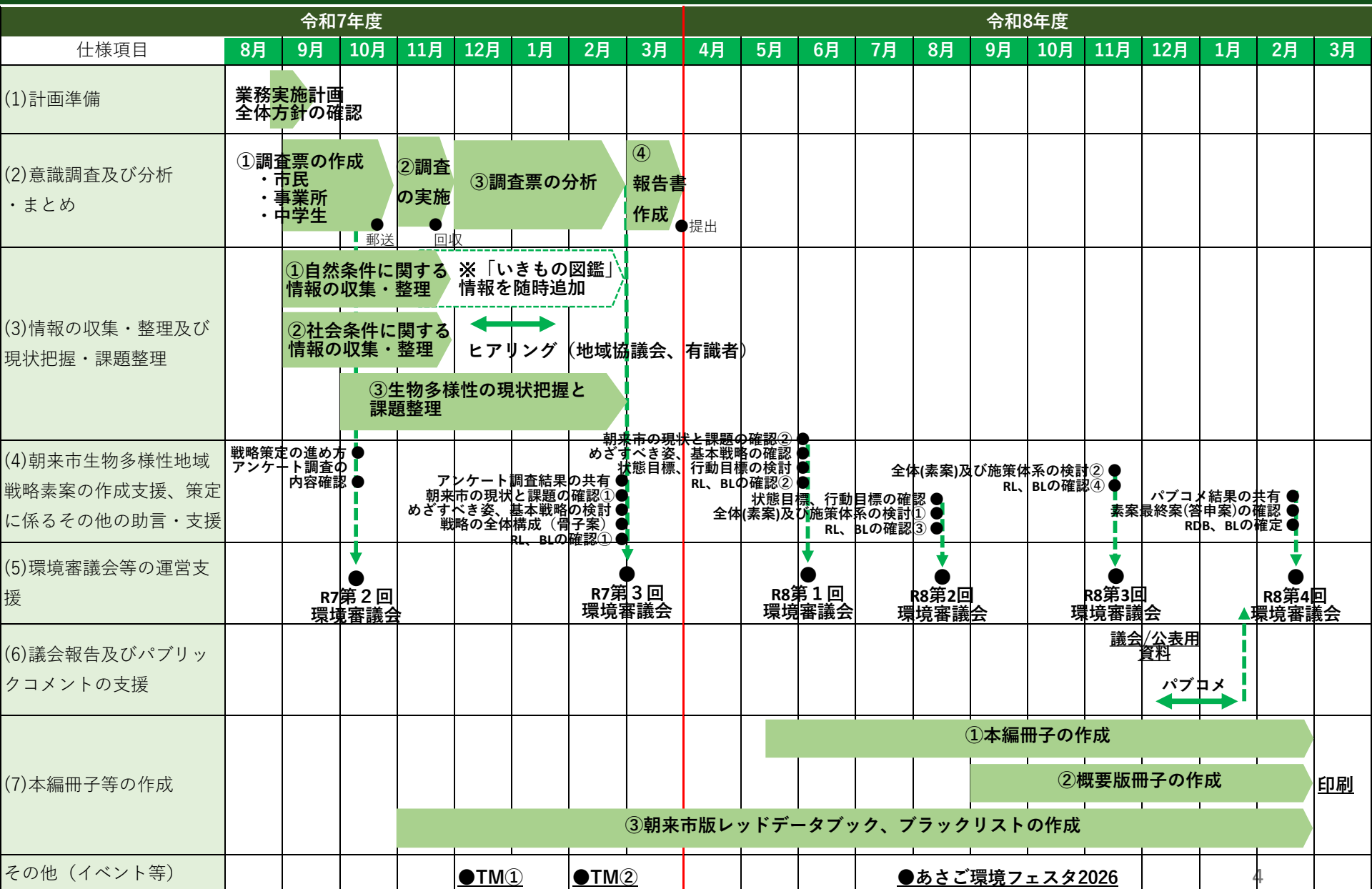
ネイチャーポジティブの実現に向けて、誇るべき豊かな自然を守り活かすまちをつくれます。

生物多様性に富んだ美しく豊かな自然と、そこからもたらされる私たちの生活を支える様々な恵みは、本市の最大の魅力であり、市民共有の財産です。これらを、将来世代に継承していくことは、今を生きる私たちの責務です。そのため、市民一人ひとりがその重要性を改めて認識し、ネイチャーポジティブ（自然再興）の実現に向けて、**全国に誇るべき豊かな自然を地域一体と**なって守り、自然が有する多様な機能を活かすまちをつくれます。

※「第4次朝来市環境基本計画」より引用

- ⇒
- ・ 初めての策定となるため、朝来市の生物多様性の現状をしっかりと把握する。
 - ・ 朝来市の豊かな自然を活かした、オリジナリティのある生物多様性地域戦略をつくりたい。

戦略策定のスケジュール



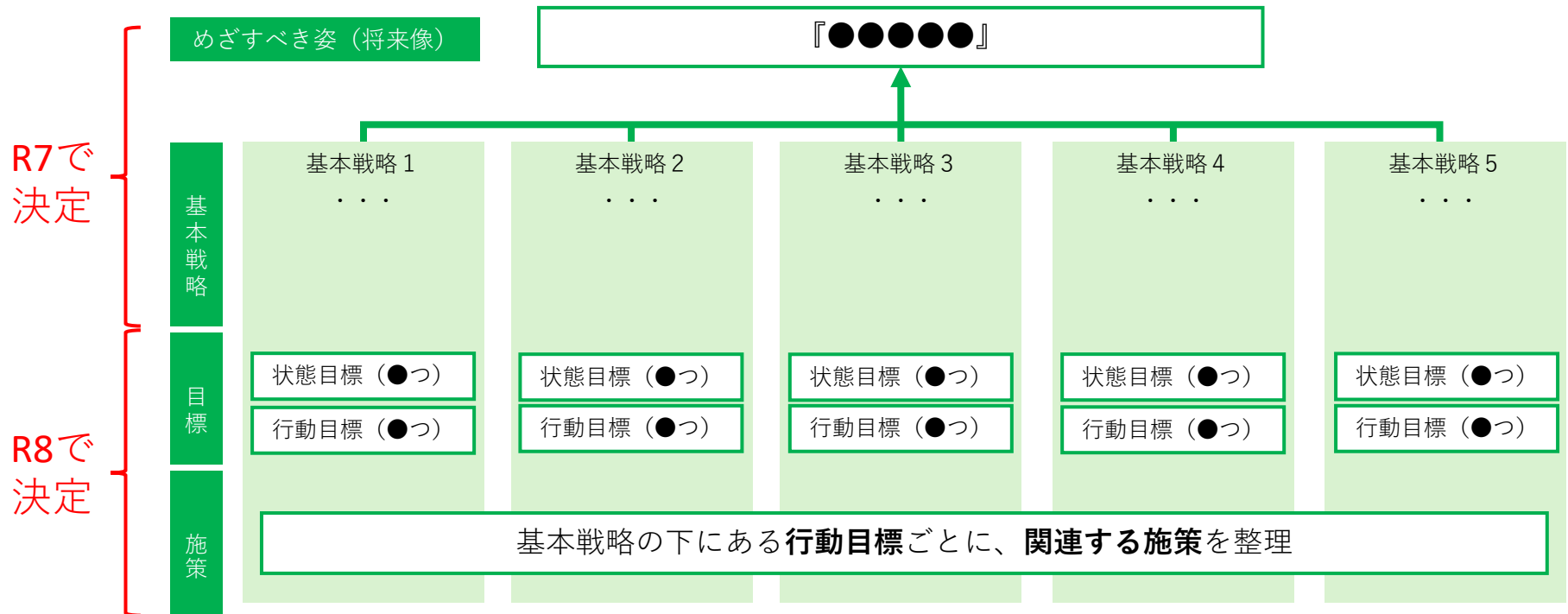
※TM：タウンミーティング

各環境審議会の議題（案）

会議回	開催日	議事内容
令和7年度	第2回 10/7 (火)	- 戦略策定の進め方 - アンケート調査の調査票確認
	第3回 2月下旬	- アンケート調査結果の共有 - 現状と課題の確認① 「めざすべき姿」、「基本戦略」の検討 - 戦略の全体構成（骨子案）の確認 - レッドリスト、ブラックリストの確認①
令和8年度	第1回 6月上旬	- 現状と課題の確認② 「めざすべき姿」、「基本戦略」の確認 「状態目標」、「行動目標」の検討 - レッドリスト、ブラックリストの確認②
	第2回 8月中旬	「状態目標」、「行動目標」の確認 - 全体（素案）及び施策体系の検討① - レッドリスト、ブラックリストの確認③
	第3回 11月中旬	- 全体（素案）及び施策体系の検討② - レッドリスト、ブラックリストの確認④
	第4回 2月下旬	- パブコメ結果の共有 - 素案最終案（答申案）の確認 - レッドリスト、ブラックリストの確定

戦略の構成イメージ

● 施策の全体像は「バックキャストिंग」の手法で構築



※バックキャストिंग：あるべき将来像を描き、そこから逆算して、現在おこなうべき活動やその優先順位を決める考え方

⇒ 今後の審議会では、まず「めざすべき姿」をしっかりと議論して定めたい。

重視する点①：現況・課題の把握

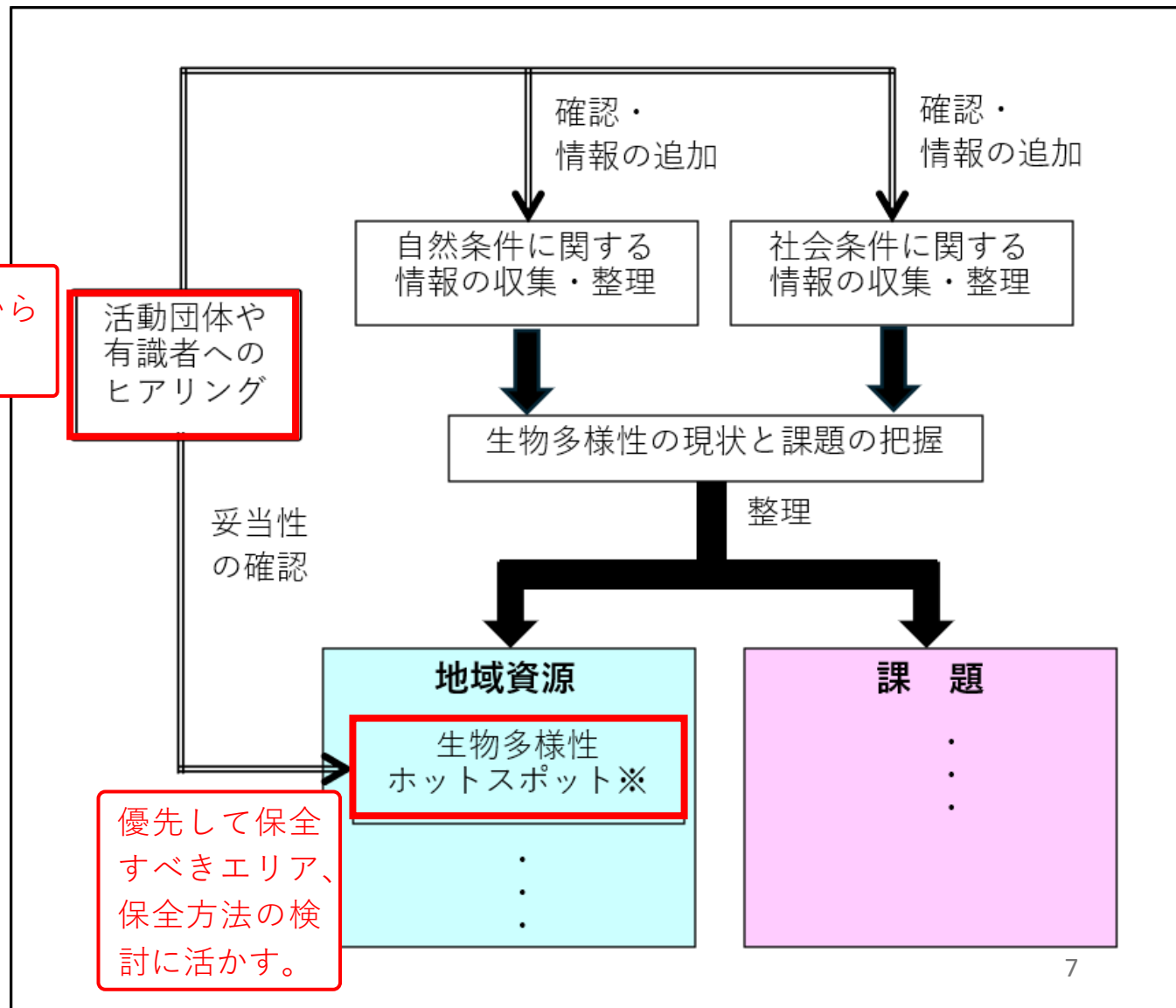
● 情報の収集・整理及び現状把握・課題整理

現地を知る方々から
情報を収集する。

活動団体や
有識者への
ヒアリング

※ホットスポット：
一般的には、特定の何かが集中している場所や領域を指す言葉です。ここでは、たくさんの種類の生きものが分布していたり、絶滅の危険性が高い生きものが集中して確認されているなど、生物多様性が高い領域の意味で使用しています。

優先して保全
すべきエリア、
保全方法の検
討に活かす。



重視する点①：現況・課題の把握

● 活動団体等や有識者へのヒアリング

【① 活動団体等へのヒアリング】

市内で生物多様性保全に関わっている団体等のステークホルダー[※]を対象に、現在の取組内容や、活動を継続していく上で求める支援方法等を把握

⇒ 各地域自治協議会や日本ハンザキ研究所、その他、新たに把握した市民団体等を対象に想定

【② 有識者へのヒアリング】

市域の生物相への知見を持つ有識者を対象に、生物相の現況や変化に関して把握したり、抽出したホットスポットの妥当性等を確認

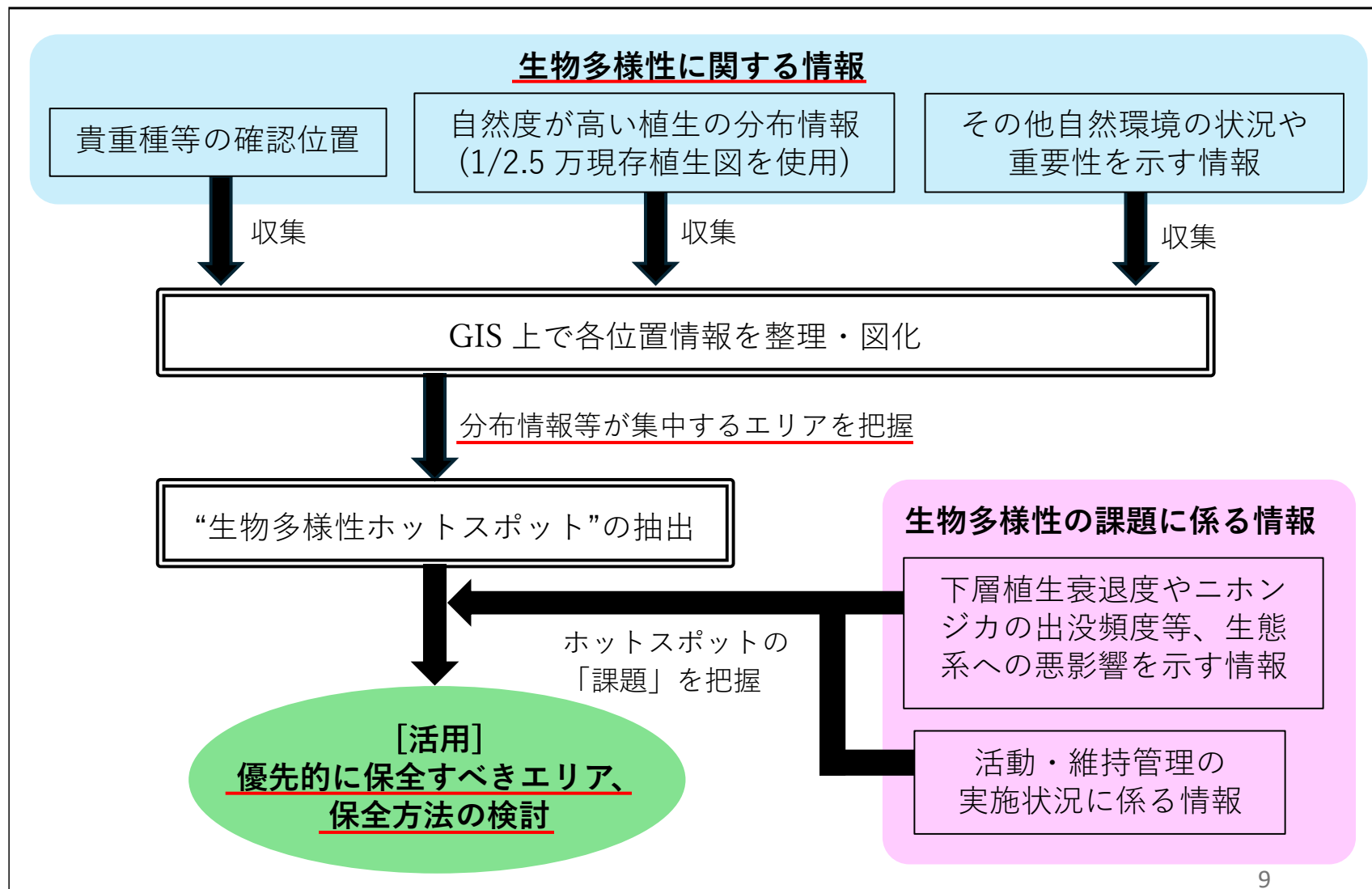
⇒ 「兵庫県立人と自然の博物館」や「兵庫県立森林動物研究センター」の専門家を対象に想定

※ステークホルダーとは：

特定のプロジェクト（今回の場合は本戦略）を実施するうえで、直接的または間接的に利害関係を持つ人々や団体のこと

重視する点①：現況・課題の把握

● “生物多様性ホットスポット”の抽出



重視する点②：市民等による意見の積極的な反映

● 市民・事業者・中学生へのアンケート

【市民、中学生】

- 行動変容を促すことを目的に実践への障壁を問う設問
- 市民の具体的な認識、考え、課題解決につながる意見を問う設問

【事業者】

- 上記に加え、生物多様性に係る事業所内での取組や事業活動（本業）との関係を把握する設問

⇒ アンケート設問（案）をご確認ください。

重視する点②：市民等による意見の積極的な反映

● 「タウンミーティング」[※] の実施

※タウンミーティングとは：

市民と行政が直接対話することで、市政に対する市民の意見や提案を聴取したり、意見交換をおこなうを目的に開催する集会

【目的】

「めざすべき姿」の検討にあたり、市民や事業者、市内で保全活動に関わっている個人や団体から、意見や想いをくみ取り、検討に活用

⇒ 生物多様性に関する市民や市内の研究者の意見を、出し尽くせる場としたい。

【実施の回数と時期】

- 骨子案作成段階で2回（2025年12月7日（日）、2026年2月1日（日））実施
- 1回目に「めざすべき姿」について幅広く意見を聴取し、2回目は複数の「めざすべき姿」についての事務局案に対し、意見を聴取

【募集人数・条件】

- 参加人数は概ね20名程度
- 「全2回に参加が可能」な市民、事業者、保全活動に関わる個人や団体等が対象

【内容案】

- ① 朝来市による生物多様性地域戦略の紹介
- ② ゲストによる地域活動の紹介
- ③ めざすべき姿の検討に向けた意見交換

補足：レッドデータブック・ブラックリストについて

● 市域における生きものの情報のデータベース化

- ・初めての作成となることから、今後の更新やその他の活用のため、できるだけ多くの情報を収集して整理し、データベースとして整備

● 自然環境への関心を引き出すツールとして作成

- ・レッドデータブックを自然環境への関心を引き出すツールとして位置づけ
- ・掲載種全種の生態写真の掲載を目指す
- ・主な生息環境をアイコンで示すなどして、掲載種のイメージについて読み手が持ちやすいような工夫を盛り込む

● 「コラム」によって読み物的な面白さも盛り込む

- ・生きもの紹介に留まらず、「コラム」によって読み物的な要素を加えることで、より読み手に生きものへの関心を高めることを目指す

【コラムの例】 ◆希少種の生態や個体数の減少等の状況
◆朝来市の特徴的な生きものの人々の生活や生業との関係
◆朝来市の自然環境を守るために、市民や事業者に取り組んで欲しいこと